

対 象:東京大学の教職員、学生、関連研究者

第6期大量絶滅時代  
到来のいまこそ



参加登録  
2/17まで▶  
(学内対象・アーカイブ有)



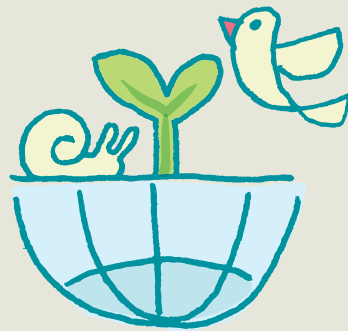
シンポジウム

2/19 Mon.  
13:00-18:00

会場 オンライン(zoom) &  
東京大学弥生キャンパス  
フードサイエンス棟 中島ホール

# 東京大学で目指すべき ネイチャーポジティブ・アクション

## 生物多様性の保全と回復に向けて



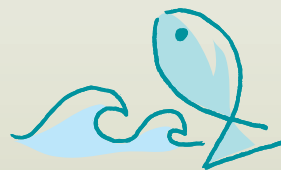
第1部

なぜネイチャーポジティブなのか?:  
生物多様性と人の  
つながりの重要性



第2部

ネイチャーポジティブ  
に向けて我々は何が  
できるのか



第3部

ネイチャーポジティブでどの  
ように社会と人々の幸福を実現  
するのか?:大学が、学術・研究  
や人材育成により果たす役割



social hour (18:30~)

交流会:東京大学農学部生協食堂

シンポジウム  
東京大学で目指すべき  
ネイチャーポジティブ・アクション

生物多様性の保全と回復に向けて



2/19 Mon. 13:00-18:00

東京大学弥生キャンパス  
フードサイエンス棟 中島ホール  
& オンライン(zoom)

*gist*

これまで数万年の単位で続いてきた人と自然の関係性やバランスが、この数十年で大きく崩れている。第6期大量絶滅とも評される現在においては、気候変動や汚染、自然資源の過剰利用・枯渇の危機が生じ、また一方で都市部と地方の格差や分断、さらには少子高齢化と人口減少から地域資源のアンダーユース、野生動物管理、人獣共通感染症などが問題となっている。こうした自然と人間、また地方と都市部の人のつながり、世代間のつながりや関係性を再構築し、生物多様性の保全に取り組んでいくことが喫緊の課題である。

国際的にも2021年G7自然協約や、2023年の生物多様性条約第15回締約国会議における「昆明・モンリオール生物多様性枠組」の採択などを受け、ネイチャーポジティブという言葉が広まりつつある。国際目標のうち、TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)に代表されるように営利企業等の活動についても、生物多様性保全等への貢献を重視する機運が高まりつつある。

しかし、ネイチャーポジティブに関して世の中の理解が追い付いていないとは言えない。表面的な原因だけを見て、根源的な原因を見失ってはならない。「ネイチャーポジティブ」という言葉がもつ楽観的な響きが一人歩きする、または最新の科学技術やその発展ですべての問題を解決できるだろうとの楽観論も一部には見え隠れする。一方で実態は、里山に当たり前にいた普通種が絶滅するのを最新の科学的知見をもってしても防ぐことは難しい状況にある。

総合大学である東京大学は、多分野の知を融合させ、尊厳あるいのちのつながりとしての生物多様性の保全とそこから生じる人間社会への恩恵を若い世代にどうつなげていくのかを議論する重要な立場にある。科学的に生態学的な生物多様性への理解を世の中に広めるとともに、社会経済的、環境倫理、文化的、医療的な見地からも人と社会の幸福のために自然とのつながりをどう再構築していくのかについて本シンポジウムで議論し、今後の東京大学のネイチャーポジティブアクションにつなげる。

参加登録  
2/17まで

(学内対象・アーカイブ有)



programme

opening talks 13:00-13:40

総合司会:中西もも (農学生命科学研究科)  
開会挨拶:大久保達也 (東京大学理事・副学長)  
趣旨説明:安田仁奈 (農学生命科学研究科)  
概 説:「ネイチャーポジティブについて」  
橋本禅 (農学生命科学研究科)

第1部

なぜネイチャーポジティブなのか?:  
生物多様性と人のつながりの重要性

13:40-14:45

SPEAKERS

森 章 (先端科学技術研究センター)  
吉田丈人 (農学生命科学研究科)

ディスカッション

ファシリテータ:安田仁奈

ADDITIONAL DISCUSSANTS

鈴木宣弘 (農学生命科学研究科)  
山本則子 (医学系研究科)  
学生

第2部

ネイチャーポジティブに向けて我々は  
何ができるのか

15:00-16:05

SPEAKERS

八木信行 (農学生命科学研究科)  
松岡良司 (銚子発・CFPの見える  
水産加工品流通促進協議会会長)

ディスカッション

ファシリテータ:八木信行

ADDITIONAL DISCUSSANTS

学生 (GXSN)

第3部

ネイチャーポジティブでどのように社会と人々の  
幸福を実現するのか?:大学が、学術・研究や人材  
育成により果たす役割

16:20-17:45

SPEAKERS

宮下 直 (農学生命科学研究科)  
斎藤幸平 (総合文化研究科)

ディスカッション

ファシリテータ:中西もも

ADDITIONAL DISCUSSANTS

福永真弓 (新領域創成科学研究科)  
牧野 篤 (教育学研究科)  
学生

closing remarks 17:45-18:00

全体について/これからのに向けたコメント  
安田仁奈  
閉会挨拶  
東原和成 (農学生命科学研究科・副研究科長)

social hour 18:30-20:00

交流会:東京大学農学部生協食堂